





テーマ

奉仕の世界

スローガン

「心ひとつ」相手の立場で WE SERVE

キーワード

「誠心誠意」

## 【 負けてたまるか！！震災との戦い 】講演会開催の御礼

拝啓、新緑の頃、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より西条ライオンズクラブの活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、4月28日に開催いたしました東日本大震災・宮城県南三陸町からの報告会

「負けてたまるか！！震災との戦い」ならびに支援活動は、おかげさまで500名余りの方々にご来場いただき、無事に終えることができました。

被災直後の茫漠とした喪失感、その後の悲嘆と混乱、そして「2年過ぎた今一番必要なのは心のケアです」というお話がつよく心に残っています。

それゆえに、なおのこと西条小学校の皆さんと歌った「花は咲く」と、小さな両手で咲かせ、掲げた花に胸がいっぱいになりました。

ボーイスカウト西条第11団団員の皆様には、義援金募金活動に多大なるご尽力をいただき、おかげさまで募金額 35,417円という大きな善意が集められました。

ここに、私どもの趣旨にご賛同、ご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

またご多忙中にもかかわらず、ご出席賜りました皆様方に深く感謝申し上げます。

今後も西条ライオンズクラブは、「人から人へ今日から明日へ思いをつなぐ」ことをスローガンに社会奉仕活動を続けてまいりますので、よろしく願いいたします。

皆様の今後ますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げ、簡略ではございますが、お礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具



西条ライオンズクラブ  
会長 安藤 憲正

講演会前日の歓迎会にて、遠藤先生よりたった1枚しかないオリジナルCDをクラブにプレゼントしていただきました。

連休中での講演会のため、当初、「来演者数確保できるかどうか？」との懸念があった事業です。各種関係団体への働きかけが功を奏したのか、当日は500人近くの来場となりました。メンバーの皆様には各種団体ほか、働きかけをしていただき誠にありがとうございました。2人の講師の講演の他に、西条小学校コーラス部による「花は咲く」の合唱や、ボーイスカウト西条第11団の皆様にご協力いただいた義援金募金活動など、講演会をさらに盛り上げて下さり、実りの多い講演会になったと思っております。

この講演会を開催したことで、南三陸町への復興支援がとぎれる事無く続いていきますように、またこの震災から学んだ教訓が20～30年後に発生するであろう南海大地震へと生かされ、ますます防災への意識が高まりますように、との私達の想いが来演された皆様を通じて大きな広がりとなっていけば、この講演会の意義があったと思えます。

また、同時に行われた南三陸町の特産品の販売も、多くの皆様に支持されお買い求めいただきました。

最後に、思い返せば昨年末に草案をまとめ上げ、講師や会場の確保、そして今年に入ってから予算案にとらめっこ、来場者の確保などなど、慣れない準備に試行錯誤しながらの打ち合せの数々、あっという間の4ヶ月でした。

お蔭で、貴重な体験もさせていただきました。青少年指導委員会の皆様、本当にご苦労様でした。メンバー並びに関係各位の皆様には、御協力に感謝いたします。



4月27日講演会前日の歓迎会



ボーイスカウト西条第11団の皆さんが募金活動をお手伝いくださいました。



講演会終了後、猪又さんと遠藤先生を囲んで記念撮影



ロビーでは南三陸町物産品の販売を行ないました。



講演会では、猪又災害ボランティアセンター長が被災地の現況を報告



遠藤先生の被災体験と「糸」の歌声に、胸がしめつけられる想いでした。



西条小学校コーラス部による「花は咲く」の合唱に会場内の雰囲気も和らぎました。

# 目録

一、東日本大震災復興義援金  
金 貳拾萬圓也

右、東日本大震災被災地への復興  
支援義援金として贈呈いたします

平成二十五年四月二十八日

南三陸町社会福祉協議会 殿

西条ライオンズクラブ

会長 安藤 善一



クラブでは東日本大震災復興支援活動を引き続き  
行っています。義援金募金活動で集められた20万  
円を、南三陸町社会福祉協議会へ贈りました。まだ  
復興への道のりは遠いのです。細くとも永い永  
い支援を宜しくお願いいたします。皆様の御協力に  
厚く御礼申し上げます。

宮城・南三陸町社協の猪又氏  
被災地の現状語る  
西条

講演会を通じて東日本大震災の被災地支援について考  
える「負けてたまるか/震災との戦い」が28日、西条市神  
拝の市総合文化会館であった。宮城県南三陸町社会福祉協  
議会の猪又隆弘・災害ボランティアセンター長(54)が被災  
地の現状を報告し、約500人が聞き入った。

震災の記憶や関心を「ア」が主催した。蔵け、約2700戸が  
風化させず、南三陸町、猪又氏は震災前1万 仮設住宅に暮らしてい  
などの災害に備えよう700人だった町の「石と証明、今後は問題  
と西条ライオンズクラブ 人口が約2500人も ボランティアなどによ

被災者の心のケアも  
大切になると語った  
10万人を超すボラン  
ティアの協力復興に  
近づいた一方、風化も  
進んでいると指摘。本  
当の復興には数十年か  
かり、まだまだ支援が  
必要。被災地の特産品  
購入や、今日聞いた話  
を友人や家族に伝えて  
もらうことも復興の一  
助になる」と呼び掛け  
た。

（杉本真司）

東日本大震災で被災した宮城県  
南三陸町の現状を語る猪又氏

2013年4月30日 愛媛新聞 10面(愛媛新聞社提供)

4月27日の会の中で遠藤先生よりうれしいお知らせがありました。昨年の7月末に我々西条ライオンズクラブと出逢うきっかけとなった「南三陸町の皆さんとの交流会」に来ていたほの香ちゃんを書いた作文が「入選」されたそうです。

「人と人のつながり」

登米市立柳津小学校 2年 須藤ほの香

わたしは、あのしんさいのちょうど二ヶ月まえからピアノ教室にかよいはじめました。しづがわのえんどつゆかりピアノきょうしつです。何回かがよったころあのしんさいがあつてずっと教室にはいけませんでした。でもゆかり先生のよびかけで日本中のいろいろなところからたくさんしんさいをいただきました。教室にかよっていた人はほとんどみんながひさいして、かぞくをなくした人、いえをなくした人がたくさんいました。でもおつえんしたいといつ日本中の人たちからピアノや教科書、たべものまでおくつてくれた人もいました。

えひめけんえらい先生方がきよねん、しづがわにきてくれたことをきつかけにえんそつかいをやらせてもらったり、「ソクールに出させてもらったりしました。わたしたちのえんそつをきいてない人、人がたくさんいました。何回かえひめけんから、しづがわにきてくれて顔をあわせているうちに「こんど、えひめにもきてほしい」といわれ、この夏休みにそれがかなえられました。わたしは、えひめけんつて「こ」にあるのかもわからなかったけど、ちずでみると、とてもとてもおいとこでした。そんなとおくまで教室のみんなを招待してくれたのです。三ばく四日のえひめの人たちとの交流会ではたくさんの人としりあいになれました。

もともとはぜんぜん知らない人たちだったのに、あのしんさいがあつてこつやつつながりができました。とてもたのしかったです。かんしゃの気もちでいっぱいになりました。これからもうつゆ人と人のつながりをだいじにしてがんばりたいと思います。

\*\*\*\*\*

4 月 第 1 花 見 例 会

テール・ツイスター 近藤基弘

例年になく、暖かい日が続き、桜の花も4月の声を聞くことなく花吹雪と消え去りし、4月9日（火）、夕刻より西条ライオンズクラブ恒例の『花見例会』を歓喜庵にて開催いたしました。通年でしたら日が暮れ、夜になる頃には肌寒さを覚える季節ですが、今年はずっとより、やはり暖かかったのでしょうか、それともお酒を美味しくいただいたせいでしょうか、あまり寒さを感じる事がなかった様に思います。



歓喜庵主であり、我がクラブメンバーでもある伊藤隆治さんの、心づくしの豪勢な料理と、手をかけて育てた大きな生しいたけのバーベキューに、メンバー一同大喜び！

若干食べ過ぎた方には、あとで痛〜いお返しがあつたとか、なかったとか・・・(笑)

次年度のクラブ役員も選挙会にて決まり、だんだんと今年度も終盤に差し迫ってきました。

しかし、今月末にはクラブアクティビティーが二夜連続スペシャルで待ち構えています。

初めての事業内容でなかなか事が進まず頭を抱え、試行錯誤しながら進めてきた「南三陸町支援事業～負けてたまるか！！震災との戦い」講演会。まだまだ準備が大変そうです。

翌日の産業文化フェスティバル。こちらの方の準備状況は、私にはわかりませんが・・・。

先の難題を前に、束の間美味しい肴をあてに桜の酒を飲み交わす、素晴らしい友との団欒。ああ青春だな～。



アトラクション「一番高価なものはどれ？」では高価なものが一番美味しい？わけではないのが現実となりましたね。



雨の気配など、微塵も感じられない日が毎年続いている4月の終わり、今年も例年どおり、爽やかな風がみんなの気持ちを高揚させてくれる「産業文化フェスティバル」の開幕です。

前日、私の事務所の冷蔵庫に保管していた南三陸町の名産品の生わかめを午前8時少し前に伊藤正己さんが取りに来てくれる段取りになっていましたので、その準備に取り掛かったのが、この1日の始まりでした。

毎年、私はカレー作り担当してきましたが、今年はバザーの担当となり、初めてか、はたまたかなりの久しぶりの感じの役割です。

バザーの品物をテーブルに並べるのに、どの品をどこへ置けば、お客さんが買い求めやすいか等と、普段使わない頭をひねっての奮闘です。

毎年、ライオンズバザーを楽しみに来てくださる常連の皆さんは、9時過ぎには顔を見せ、さっさとお目当ての品を探し当て、のっけから値引き交渉をしてくるのにはタジタジです。

隣のテントでは、「蛇口から PON ジュース」の準備が進み、さらにその隣では、薫り高いコーヒーの香りが鼻腔をくすぐります。

テントの裏では、例年通りライオンレディーを中心にカレー作りが慣れた手つきで開始され、飯炊き担当の益田事務局も、5つの大釜に炊飯セットオッケー、ものの見事に出来上がっていきます。そのまた隣のテントでは、今回の目玉商品。青少年指導委員会事業のひとつの、「南三陸町の名産品の販売」の為、委員会メンバー全員で所狭しと並べ「絶対売り切るぞ！」という強い気迫が伝わってきました。



昨日から引き続き、青少年指導委員会全員揃っての「この笑顔」。めざせ！完売！！

10時過ぎ、愛情カレーの最後の煮込みを残して、販売の開始です。やはり、陽気に誘われてか、例年になくかなりの人出となり、バザー物品の販売に熱中している間にあっという間に時間が経ち、気がつくとも正午を過ぎていました。



ライオンレディーが作るカレーは愛情をスパイスにしてるから、美味しいんですね

隣のブースでは、カレーを食するお客さんがテントに溢れ、机をテントの外にも並べて青空食堂を急遽作るまでに至り、毎年恒例とはいえ、「ライオンズカレー」の人気の定着度はかなりのものだと改めて感心させられました。

「蛇口からPONジュース」と「ドリップコーヒー」コーナーには行列ができ、これも例年通りとは言え嬉しいことです。PONジュースの入れ替え担当メンバーは、額に汗して忙しく働いています。



プロが入れたコーヒーは味わいが違います



毎年大人気の「蛇口からポンジュース！」



当日は汗ばむくらいの陽気で冷たいジュースに長蛇の列 会場を盛り上げてくれた彩西華チーム

バザーの品物は、だんだん売れにくい商品が目立ってきます。そんな中、南三陸町の名産品販売ブースでは、売りの掛け声が一段と大きくなり、完売に向けてラストスパートに突入の様子です。チラッと見てみると、残りの商品は前日私が冷蔵庫で保管を任された「生わかめ」の袋が数個となっており、その後、数分で見事に完売！このブースに限っては、特に値引きなしの定価販売でしたので、これは、買っていただいた市民の方々の震災義援の気持ちの表れであり、感謝の一言です。この企画成功は、青少年指導委員会メンバーにとっては、前日の講演会の盛況とあわせ、肩の荷を降ろせるよねと、老婆心ながら安堵したとともに、メンバーの努力に心から感謝する次第です。

さて、全体の5分の1ほどの残商品となった、チャリティーバザーブースでは、これまた恒例の「売り切り超安値販売」の開始です。販売というよりは、ただでも要らないと言わしめる商品を抱き合わせ商品の廉価を利用して、いかに持って帰ってもらうかの勝負です。

この商品とその商品は、売れ残ってしまうかもと、不安視している中、やってまいりました！究極の売り子、皆も知る「明比昭治さんと塩崎己年夫さん」の登場です。2人のスーパー売り子は、売れ残りの心配をよそに、あっという間に完売にしました。頼もしきは先輩たち。



会場では東日本大震災義援金募金活動も行いました。

昨日からの2日ぶっ通しの事業であったにもかかわらず、メンバーの出席が多く、片付けも手際よく進み、気がつけば「耕ちゃん」で乾杯です。青少年指導委員会メンバーの、今回のイベントを通しての愚痴も、何か楽しげに耳に入ってきて、達成感に満たされ、また西条ライオンズクラブの素敵さの再認識ができた1日でした。

執行部の皆様、ご苦労様。メンバーの皆様お疲れ様。頼もしきパートナー、ライオンレディーの皆様、益田さん、ありがとう。この楽しみを来年も味わえますように！



残っていたメンバーで「ハイ！ちーず」

4月28日(日)、29日(月)事業結果報告



青少年指導委員会事業

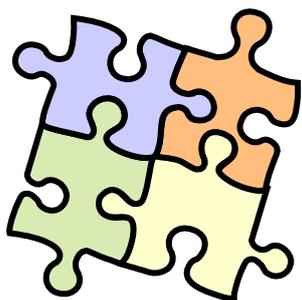
南三陸町物産販売	237,300円	(収益金は東日本大震災義援金にします)
東日本大震災義援金募金(4/28)	35,417円	(ボーイスカウト西条第11団の皆さんにお手 だきました。)
	(4/29)	31,673円(産業文化フェスティバル会場で行いました)

第13回産業文化フェスティバル

チャリティーバザー	163,250円
カレー・コーヒー・ジュース	185,500円

打合せ・準備と大変だった苦労も  
この成果をみれば喜びにかわりますね

義援金募金	67,090円
事業資金獲得	348,750円



ひとつの事業をしようと思った時に、みんな声をそろえて賛成！というものではなかったことでも、なんとか実現させようという強い想いと、その想いを叶えてあげたいと寄り添う気持ちが、重なってまたひとつ、大きくなって。しだいに大きなピースとなりました。一人一人は小さくても、合わせていけばそれはとても大きなチカラとなっていきます。今回はそんなことを実感した事業でしたね。

\*\*\*\*\*



昨年は一輪しか花をつけ  
ませんでした。今年は見  
事たくさんのお花が咲きま  
した。  
憶えていますか？  
クラブ事務局引越しの時  
にお祝いでいただいたお花  
です。  
まだまだ可憐に花を咲か  
せていますので、事務局に  
お越しの際には、ぜひご覧  
下さいね。



4月13日(土)・14日(日)に高知にて第59回年次大会が行われました。西条LCからは、安藤会長をはじめ執行部5名を含む12名で参加してまいりました。個人的には入会して2回目の年次大会ですが、昨年は参加することができず、今年が初参加でした。

13日は、記念ゴルフ大会で土佐カントリークラブの大会に参加しました。参加者が多かったためか、2会場に分かれてのゴルフ大会でした。総勢約400名の参加者で盛大に開催されました。天候にも(同伴者にも)恵まれ、唯一私だけが入賞しました。良い思い出とともに家内にも良いお土産ができました。

夕食は皿鉢料理を堪能し、ついでに土佐の夜の郷土文化も勉強させていただきました。詳しくは書けませんが、ホントに楽しかったです。

14日は、早朝から指名選挙、代議員分科会、代議員総会と続き、昼食をはさんで大会式典、ガバナー晩餐会が行われました。年次大会の登録数は約2000名だったそうで、大会式典では参加人数の多さに驚かされるとともに、よく準備されたホストクラブの演出に感動しました。続いて、ガバナー晩餐会では流石は高知と思わせる料理で、どれも美味でした。席は自由席でしたが、高木会計の鋭い嗅覚のおかげでマグロの解体ショーを目の前で見ることができる席でした。余興では本場のよさこい踊りを拝見しました(実は生よさこいははじめてでした)。子供からご高齢の方まで、幅広い年齢層の踊り子がいって、エネルギーで心温まる余興でした。

あっという間の2日間でしたが、楽しく過ごさせていただきました。仕事を休んでまで参加した甲斐がありました。来年は高松市で開催の予定だそうです。来年も無理をしてでも参加したいと思います。

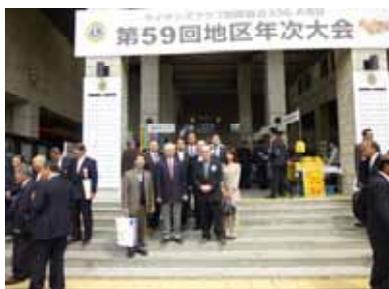
~ 第59回地区年次大会ガバナーズアワード ~

例会出席優秀賞	金賞 336A 地区内例会出席率 No.1 純出席 92.7%
国際交流賞【海外姉妹締と交流】	金賞 ハワイ・アモエナ LC 杉野さん告別式参列の為の交流
YE プログラム優秀賞	金賞 夏期 YE ホストリア派遣事業 (原 貴志さん)
保健福祉賞 (社会福祉部門)	金賞 第19回餅つき奉仕
200%例会開催優秀賞	銀賞 年間5回の200%例会達成の為の例会開催
グッドスタンディング賞	銅賞 グッドスタンディング賞授与基準による
特別クラブ功労賞	銅賞 第12回産業文化フェスティバル参加



大会式典の様子

ゴルフ大会参加メンバー



年次大会終了後、ガバナー晩餐会ではマグロの解体も行われ、おもてなしの心を感じた、久々に心に残る大会でした。

セルフの讃岐うどん店を紹介したいと思います。

店名は「松下製麺所」です。

名前のとおり製麺所ですから店内は狭く、混んでいたら立ったままで食べるか、壁際の小さなカウンター席が空くのをお待ちして座って食べてください。

場所は高松市内、駐車場が無いので中央通りのパーキング（駐車場）に止めて食べに行きます。

20年以上前に出始めた「恐るべき讃岐うどん」

といった書籍などにて紹介され始めました。

当時、紹介された「うどん店」の多くがかなり様変わりしていますが、「松下製麺所」は当時の店舗風情と変わらないお店です。



★ゆっくり座って食べる雰囲気はありません。

「チャッチャと注文！ サッと茹で出汁を入れたらチャッチャと食べ、サッと帰る。」と感じのうどん店です。

因みに、麺のコシはそれほど強くなく、喉越しが楽しめます。

(香川の方は「うどん」は噛まずに飲み込む！とよく言います。)

また、絶品のいりこ出汁で、「うどん麺」の他に「中華麺」なども楽しめます。

昼時に高松市内に到着すると、ツイツイ覗きたくなる「うどん店」です。

皆様も、一度覗いてみてください。



《値段》 うどん一玉：180円 天ぷら・コロッケ：80円

〃 二玉：270円 温泉卵：80円

麺の種類は（うどん、中華めん、日本そば）3種類です。



## 編集後記

青葉若葉の香りの漂う季節を迎えました。今年のゴールデンウィークは寒暖の差が激しい、日本列島でしたが、皆様方にはリフレッシュされましたか？

さて、講演会、産業文化フェスティバル、チャリティーバザー等、盛会離に終了し、今年度の行事も、ほぼ消化されました。各委員会の皆様にはご苦労様でした。

お蔭様で、今月号は沢山の記事に恵まれました。

我が PR・広報も今年度の最終号に向けてがんばります。

PR・広報委員 越智英明

発行者 会長  
幹事  
PR・広報委員長  
編集委員

安藤憲正  
今岡正士  
山本新一郎  
小野雅志・越智英明・宮崎英明  
高橋 学・正木信行・瀬川大秀  
福島 譲

例会日  
例会場  
発行  
印刷

毎月 第2・第4火曜日（12：30～13：30）  
西条国際ホテル  
西条ライオンズクラブ事務局  
プリントワールド ONO